

新型コロナウイルスの収束まで、できることを最大限やり続けましょう！

この一年余り、学校も児童も新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努め、いろいろな行事や学習内容を変更し、健康安全を最優先にした取組を進めてきました。近い将来、医療や科学技術の進歩によって感染症の脅威を抑えることができるかと信じて、それまでは感染予防でできることを最大限続けていきましょう。ご家庭でも、マスク着用、こまめな手洗い、三密防止に継続して取り組んでいただきますよう、よろしくお願いいたします。



「わかるまで学び続ける」お話朝会

2月5日（金）のお話朝会では、昨年末に話題となった「はやぶさ2の帰還」について紹介しました。小惑星「イトカワ」に向かった「初代はやぶさ」の苦難の旅から、今回の「はやぶさ2」の偉業まで、短い時間で語り尽くすことはできませんが、本校児童が宇宙や日本の科学技術を身近に感じ、少しでも興味関心をもってくれればと期待してお話をしました。

子供たちは誰もが大きな可能性をもっています。その可能性を生かすために大切なのは、好奇心、地道な努力、協力してくれる仲間、この三つをもち続けることだと思います。学校教育目標にある「ねばり強く」の言葉通り、失敗や挫折も力に変えて、経験からいろいろ学び取りながら、いつか自分の夢や希望を実現できる人生をめざし、こつこつと歩み続けてほしいと願っています。



《スライドを見ながら「はやぶさ2」について紹介》

《はやぶさの1/30 模型》

本を読む習慣を身につけましょう

主体的な学びを進めるためには、読解力（文章を読んで内容を理解する力）が必要です。物語でも説明文でも、算数の文章題でも、文章理解が不十分だと学習は停滞してしまいます。では、どうすれば読解力を高めることができるか。一番簡単で誰でもやる気になればできる方法は、とにかくいろいろな本を読むことです。本校では、市立図書館や県立図書館と連携し、定期的に本を借り入れて学級図書の実施を図ると共に、図書館司書や文化委員による読み聞かせを毎月行う等、本と出会う機会をできるだけ増やすよう取り組んでいます。休みの日はゲームばかりしているという児童の声を聞くことがありますが、よい本との出会いを大切にして、好きな本を見つけ、集中して本を読む時間をもってもらいたいと願っています。そのため学校では、これからはいろいろな本を紹介し、それぞれの児童に合った本の世界を広げる取組を続けていきます。読解力というスキルを磨くだけでなく、自分の視野を広げる意味でも、本はいろいろなことを教えてくれます。いつでも読みたい本が身近にある生活を実践すれば、自分の可能性だって広がります。本を読む習慣を身につけて、心も生活も豊かにしましょう。



令和3年度前期児童会役員選挙を実施しました

2月19日（金）、来年度の前期児童会役員選挙を行いました。5年生の3名がそれぞれ三役に立候補し、投票によって全員信任されました。会長の森宗芽唯さんはじめ新役員となった3人を中心に、「新しい学校の生活様式」の中でできることをみんなで考え、協力してよりよい栗屋小学校児童会を築いていきましょう。4月には新入生5名を迎え、より明るく元気な学校にしていきたいと思います。



☆2月26日（金）13時40分から、今年度最後の授業参観を行います。一人一人の児童が、今までの頑張りを発表しますので、ぜひご家族皆様でご参観ください。学級懇談では、来年度のPTA役員（各学級1～2名）を選出しますので、合わせて参加の方よろしくお願いたします。